

で古紙回収 会を目指して



衛生センターでは4月から試験的に毎月1回、古紙類の回収を始めました。対象地区は白根地区の国道から東側の区域。森林資源の保護とごみの減量化による経費の節減を狙った古紙類回収にスポットを当て、リサイクルの現状を探ってみました。

2カ月で5トン余りを収集 経費節減と資源保護

白根衛生センター組合（衛生センター）では、四月からモデル地区を設定して、古紙類の収集を始めました。これは、資源として再利用できる新聞紙や雑誌、段ボールを一般の可燃ごみとは分別して収集し、資源の保護と処理経費の節減を図ろうというものです。

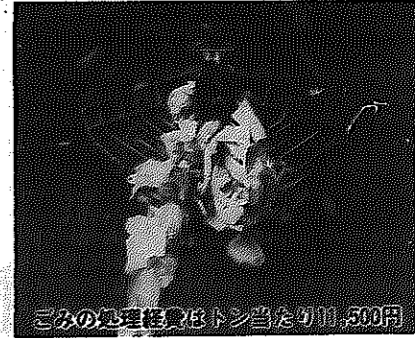
モデル地区として収集を行っている地域は白根地区の国道から東側の区域。十九町内、一千二百二十世帯が対象で、百四カ所のごみステーションがあります。収集は月一回（第三水曜日）で、今年度は試験的に十二月まで行うことにしています。

四月、五月の二カ月間で回収された古紙類は、段ボール〇・四トン、雑誌類二・〇七トン、新聞紙二・七六トンの合計五・二三トンに上りました。今後は収集量などの推移を見ながら、収集の期間や方法などの問題点を把握し、将来的には管内全域で古紙類の収集を行いたいとしています。

現在衛生センターでは、平成六年十月の完成を目指して、新ごみ処理施設の建設を進めています。総事業費は四十四億三千万円余り。一日の焼却処理量が

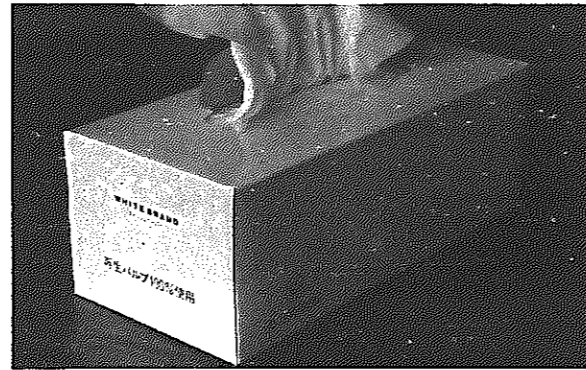
百トン、粗大・不燃ごみ処理量が二十トンという大型施設。さらに排ガスや焼却灰の処理などに最新の環境保全設備を備えています。

しかし増え続ける一方のごみに、大きな施設を作ってもイタチごっこになるのでは、という心配があります。そのため、衛生センターでは「資源として生かせるものは生かし、ごみの減量化を図りながら、処理経費の節約に努めたい」としているのです。



ごみの処理経費3トン当たり約500円

モデル地区 リサイクル社



コスト高のリサイクル商品 大手スーパーは自社ブランドで

回収された古紙はどのくらい利用されているのでしょうか。紙パルプ統計によれば、平成二年度国内で消費された紙の量は二千三百四十七万三三三トンに上ります。そのうち古紙として回収されたのは四九・八%、利用された古紙は五一・五%でした。政府は古紙利用率を、平成六年度までに五五%に引き上げることがを目標としています。

リサイクルによってできた商品にはエコマークが付いていますが、パッケージ類やアルミの缶などに付いているのを目にした人も多いことでしょう。

古紙を利用したリサイクル商品の販売状況について市内のスーパーに問い合わせてみました。しかし、残念ながら「取り扱っていない」という回答でした。「お客様から要望の多い商品を優先的に品ぞろえしていくため、要望の少ないものについて取り扱うのは難しい」とのこと。

新潟市の大手スーパーではリサイクル商品のコーナーを設けています。販売しているリサイクル商品はティッシュペーパーやごみ袋、アルミホイルなど二百五十品目。ほとんど自社ブランドの商品です。このスーパー

は自社ルートで回収した牛乳パックやプラスチックトレーをリサイクルし、商品化しています。このスーパーのリサイクル商品の売れ行きは上々。例えばトイレットペーパーでは、古紙を使用していないものに比べて価格的に三割ほど安いからです。

担当者は「一般市場のリサイクル商品は種類も少なく割高。自社ブランドだから多くの品目を安く供給できる」と話します。一般にリサイクル商品は普通のものに比べて割高であるといわれます。紙を例に取ればコピー用紙やコンピュータ用紙、名刺などに古紙を含んだ再生紙が使われていますが、一般の紙に比べて三〜五%高いとのこと。

これは回収に要する運送コスト、洗浄コスト、人件費などで、紙の原料となるパルプに

リサイクルは実行の時代へ

資源を保護し、ごみを減らすリサイクル。これを本場に軌道に乗せるためには、回収に協力するだけではなく、リサイクル商品を積極的に使うという、消費者としての協力も欠かすことができません。

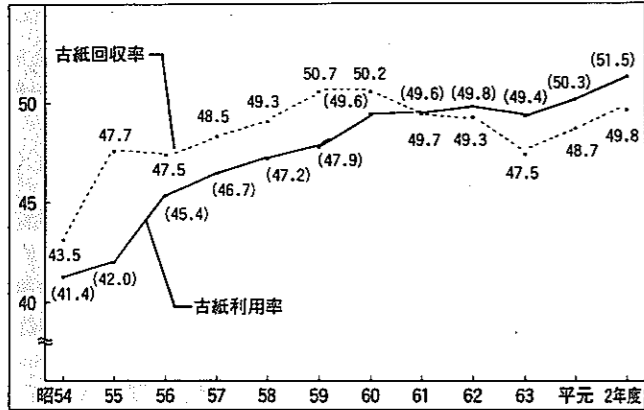


比べてコスト高になるためです。さらにリサイクル商品の需要がさほど多くないことも割高感を強めています。

スーパーの担当者は「リサイクル商品を定着させるためには行政の援助が不可欠」と言います。「リサイクル商品の製造、販売の面で、税制の優遇措置などの政策がなければ、現状の流通システムのなかでは、安さには結び付かない」とのこと。また「需要が増えれば供給量も増え、価格も下がる」とも言います。

リサイクルは「言葉の時代」から「実行の時代」へ入ったといわれています。資源を有効に利用すること、さらにリサイクルされた商品を積極的に使うことがリサイクル社会を作っていくことになるのです。

●古紙回収率・利用率の推移(単位: %)



備考: 紙パルプ統計月報、日本貿易月表